



ホットニュース Hot News

◎雑誌カバーに広告を掲載しませんか？

雑誌の購入代金相当額を負担することで、企業・商店・団体などのPRができます。

- ▶ 募集期間=2月1日(水)~28日(火)
- ▶ 掲載期間=4月~令和6年3月
- ▶ 広告1枠の規格=①カバー表面(たて7cm×よこ14cm)、②カバー裏面(A4サイズ未満※雑誌の大きさによる)、③雑誌架(たて15cm×よこ21cm)



▶ 設置場所=各図書館雑誌コーナー

▶ 申込方法=申込書に必要な書類を添付の上、中央図書館に直接または郵送にて/希望する雑誌は、図書館が提示する雑誌リストから選定



◀ 申込書や必要書類など詳しくはこちら

オスナの本



高校の情報Iが1冊でしっかりわかる本

鎌田高德/著 かんき出版
 日常生活で関わるデータの活用やインターネットのことを図で解説しています。大人の方にも読んでほしい1冊です。



リラックマの「ごゆるり」セルフケア

根本裕幸/監修 リベラル社
 心が疲れてしまったときに読んでほしい本です。たまには急がずゆっくりと過ごしてみませんか。

History Inquiry Club 其の229 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
 渥美郷土資料館 ☎33-1127



渡辺華山の雛祭図

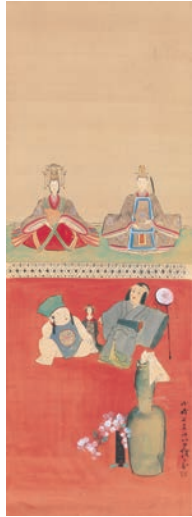
田原市博物館では、「ひな人形と初凧展」【2月11日(土・祝)~4月9日(日)】、渥美郷土資料館では、「ひな祭り展」【~3月19日(日)】を開催します。

今回はひな祭りに関連して、渡辺華山の「雛祭図」を紹介します。この作品には上から内裏雛、御所人形、花魁、市松人形、酒瓶、桃の花が描かれています。一番目を引くのは赤い毛氈。作品の半分を占めています。よく見ると内裏雛にかけて段々と赤色が濃くなっており、遠近感を強調していることがわかります。華山作品の中でも、特に派手な作品です。

この雛祭図のように、掛軸へ雛人形を描くのはなぜでしょうか。それは雛人形が高価だったことが理由として挙げられます。豪華な衣装をまとった雛人形は庶民にとっては高嶺の花。それに代わる物として、雛人形が描かれた掛軸が登場しました。その多くは木版摺など質素なものでしたが、のちに印刷でさらに安価なものが大量に作られました。また、桃の節句の様子を描

いたもの、御殿飾りや段飾りを描いたもの、雛人形のみを描くものなどさまざまな種類がありました。さらには著名な画家に依頼し、一点ものの作品を求める人もいました。一方で、掛軸ならではの利便性がありました。掛軸は巻くだけで片付くため、雛人形を飾って片付ける手間が省けました。このような掛軸は人気を博し、江戸時代終わりから昭和30年代頃まで全国各地で制作されました。

渡辺華山の雛祭図は、縦108.3cm、横39.7cmあり、掛軸としては一般的なサイズですが、床の間に飾ると、より大きく見えるかもしれません。右下にある落款から天保9(1839)年に描かれたことがわかります。この渡辺華山「雛祭図」は、「ひな人形と初凧展」で展示しています。(学芸員 三宅良宜)



▲渡辺華山「雛祭図」